



文化博物館だより 第200号

2007年12月23日

みなさん、こんにちは。大台にのった今号は、当館のイベントの穴場のひとつ、「はた織体験」の続報です。

「体験」準備作業！

当館ボランティアによる「はた織体験」。いつもは、織機に縦糸をセットしたところから織る作業を体験してもらっています。布を織るのは出来上がっていく楽しさがありますが、その前に縦糸を織機に通していく地道な作業があります。ボランティアさんたちは工夫してやりなおしのないように、黙々と作業に没頭していました。その甲斐あって、今回は一度でセットすることに成功！



写真のような器具に、作りたい幅の分だけ糸をかけていきます。この時に織機にセットした時交差する部分も作ります。配色も考えます。糸を織機に移し、通していきます。1本1本、細い隙間に通します。とても細かい作業！！先がカギのようになった薄い道具を使います。今度は針金の細い穴に糸を通します。これで上糸・下糸ができます。穴はこんなに小さいです。最後に織機の手前と奥に糸を巻きつけます。これで、完了です！

今回の作業はとても根気と集中力がいるなあと、私は感心しました。さおり織の織機は、大島紬のものと大きさや糸を通す部分が違いますが、体験学習室の大島紬の方を見ると、これは大変だろうと納得していただけのかも知れません。

当館のイベントの穴場のもうひとつ。それは、十二単と一緒に行われる「鎧(もしくは衣冠)の着付」です。男女問わず、興味のある方はどうぞ体験してみてくださいね！